

考えよう！平和と未来



NO. 29 2015/9/28 東京都教職員組合江戸川支部

TEL

戦争を引き起こす前に、 何としても戦争法を廃止へ！ そのために廃止めざる議員を多数に！

安保法（戦争法）は国民の命を危険にさらす憲法違反の法律です。憲法下であってはならない法律で、一刻も早く廃止することが必要です。さらに今、起きているのは憲法と国民に対するクーデターのような非常事態。これに対抗するには、戦争法廃止、憲法と民主主義を守るという一点で広範な人々と政党が共同することが必要です。すでに今回の闘いでは広範な人々の共同の力を背景に国会内では野党が共同で阻止に向けて闘いました。今までかつてなかったことです。広範な世論と運動でこの共同の力をさらに発展させ、次回選挙で「安保法廃止を公約」した議員を多数派にすることで「廃止」を実現することができます。戦争を引き起こす前に何としても廃止に！

今、言わなければ！

<シールズ 奥田愛基さんスピーチ>

この社会は「若者は無関心だ」「若者の政治離れだ」とずっと言ってきた。デモなんてやっても意味はない、市民なのに、主婦なのに、サラリーマンなのに。俺はそれに対して言ってやりたい。「そう言うことに意味がないんだ」って。そろそろ自分の頭で考えた方がいい。最近はその思う。(略)今こそ、「戦争反対」「憲法守れ」と言わなければならない。



法案「成立」後も 怒りは止まらない

23日（水）代々木公園に25000人

24日（金）夜の国会前に5000人

あしたのための声明書

自由と平和のための京大有志の会
2015年9月19日

わたしたちは、忘れない。

人びとの声に耳をふさぎ、まともに答弁もせず法案を通した首相の厚顔を。

戦争に行きたくないと叫ぶ若者を「利己的」と罵った議員の無恥を。
強行採決も連休を過ぎれば忘れると言いつつ官房長官の傲慢を。

わたしたちは、忘れない。

マスコミを懲らしめる、と恫喝した議員の思い上がりを。

権力に媚び、おもねるだけの報道人と言論人の醜さを。

居眠りに耽る議員たちの弛緩を。

わたしたちは、忘れない。

声を上げた若者たちの美しさを。

街頭に立ったお年寄りたちの威厳を。

内部からの告発に踏み切った人びとの勇気を。

わたしたちは、忘れない。

戦争の体験者が学生のデモに加わっていた姿を。

路上で、職場で、田んぼで、プラカードを掲げた人びとの決意を。

聞き届けられない声を、それでも上げつづけてきた人びとの苦しく切ない歴史を。

きょうは、はじまりの日。

憲法を貶めた法律を葬り去る作業のはじまり。

賛成票を投じたツケを議員たちが苦々しく噛みしめる日々のはじまり。

人の生命を軽んじ、人の尊厳を踏みしめる独裁政治の終わりののはじまり。

自由と平和への願いをさらに深く、さらに広く共有するための、あらゆる試みのはじまり。

国会前集会 10月19日(月) 6:30~国会正門前

★行動に参加したら報告してください! 3651-3153 FAX3655-3521